

授業科目名	日本企業インターンシップ
科目番号	01ER701
単位数	3 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春 AB 応談
担当教員	松倉千昭、森川一也、大庭良介
授業概要	日本の企業や私的研究所等の学外の協力拠点に出向き、就業体験を通じて、日本の企業風土や文化を学習するとともに、学習内容を特定課題研究執筆や就職へ活用することを目指す。体験学習を行う施設は、契約されたインターンシップ拠点、または、自らが申し込みしてインターンシップ関連の委員会で承認された施設の中から選択する。インターンシップの成果はレポートとしてまとめ、成果報告会で発表する。
備考	英語で授業。国際連携食料健康科学専攻の学生向け
授業形態	実習・実験
教育目標との関連	就業体験学習を通して、就業意識と実務能力（コーディネーション力、実践力）を向上させると共に、「食と健康」の問題に関し、研究開発と社会的要請の関係について考察する。
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分でインターンシップ先を調べて、就業体験することができる。 2. 体験した業務内容および就業を通して学び考えたことをまとめ発表することができる。 3. 「食と健康」の問題に関し、研究開発と社会的要請の関係について考察できる。 4. インターンシップ体験を特定課題研究の執筆に生かすことができる。 5. 就職活動の対象企業を見つけることができる。
授業計画	<p>分野ごとの担当教員（松倉千昭（食料分野企業）、森川一也（健康分野企業）、大庭良介（その他分野企業））が、次の各プロセスにわたり指導を行う。</p> <p>インターンシップ先では得にくい知識や技術についてさらに学ぶ必要がある場合、これら学内教員から学習することができる。この指導時間は本科目の授業時間数に含むことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターンシップ説明会 2. インターンシップ学習の実施 3. レポート提出ならびに報告会
履修条件	必ず担当教員と密な連絡の上、企業側へ申請のこと。
成績評価方法（割合・評価基準・提出期限等）	<p>レポート（50%）と報告会での発表内容と質疑応答（50%）により判定する。授業達成目標の1、2、3、4について概ねできていればC以上とする。</p> <p>評価は、A+（きわめて優秀）、A（優秀）、B（到達目標を達成している）、C（到達目標を最低限達成している）、D（到達目標を達成していない）とする。</p>
授業外における学習方法	GLiD の G-career に取り組むこと
教材・参考文献・配付資料等	別途通知
オフィスアワー	<p>担当教員： 松倉千昭 電子メール： matsukura.chiaki.fw@u.tsukuba.ac.jp</p> <p>担当教員： 森川一也 電子メール： morikawa.kazuya.ga@u.tsukuba.ac.jp</p> <p>担当教員： 大庭良介 電子メール： ohniwa@md.tsukuba.ac.jp</p> <p>学生は事前に問い合わせのこと</p>
その他（学生に望むこと等）	
関連科目	<p>台湾企業インターンシップⅠ</p> <p>台湾企業インターンシップⅡ</p> <p>キャリアパス・セミナー</p> <p>フランス企業インターンシップ</p>
キーワード	インターンシップ、企業